

# 成果指標の目標達成効果率

0.8以上：目標達成に向けて十分な成果が認められる  
 0.6～0.8未満：目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある  
 0.3～0.6未満：目標達成に向かう成果はあまり認められない  
 0.3未満：目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1 男女共同参画 社会の形成のための 理解の促進	社会全体の中で男女の 地位は平等であると思 う人の割合	女性11.2% 男性26.3%	女性17.0% 男性28.0%	市民意識調査未 実施。				
	家庭生活の中で男女の 地位は平等であると思 う人の割合	女性27.6% 男性44.8%	女性37.0% 男性53.0%	市民意識調査未 実施。				
	社会通念・慣習・しき たりなどにおける男女 の地位は平等であると思 う人の割合	女性8.1% 男性15.2%	数値目標の設定 の促進に努める	市民意識調査未 実施。				
	職場の中で男女の地位 は平等であると思 う人の割合	女性17.7% 男性20.6%	女性20.0% 男性32.0%	市民意識調査未 実施。				
	男女共同参画に関する 職員・教員研修の参加 者数		参加者数が増加 する	職員0名(0.0) (実施なし。) 教員19名(0.6)				
	男女共同参画に関する 職員・教員研修の研修 目的の達成度		研修の目的に沿った 評価をした人の割合 が年々増加する	職員0%(0.0) (実施なし。) 教員95%(0.8)				
	学校教育の場で男女の 地位は平等であると思 う人の割合	女性63.4% 男性71.1%	女性65.0% 男性73.0%	市民意識調査未 実施。				

## 成果指標の目標達成効果率

0.8以上：目標達成に向けて十分な成果が認められる  
 0.6～0.8未満：目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある  
 0.3～0.6未満：目標達成に向かう成果はあまり認められない  
 0.3未満：目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
<b>2 可能性・個性を 発揮できる環境 整備の促進</b>	市管理職に占める女性の割合／市職員に占める女性の割合	課長級以上0.2	0.36	0.23(0.19)				
	審議会等委員に占める女性の割合	25.0%	30.0%	27.0%(0.4)				
	女性委員ゼロの審議会等の割合	16.0%	年々減少し、ゼロに近づける	15.3%(0.04)				
	家族経営協定締結農家数	1 2 戸	年々増加する	1 2 戸(0.0)				
	防犯環境が「よい」と回答した女性の割合	23.2%	調査ごとに増加する	市民意識調査未実施。				
	女性の社会的チャレンジ支援の講座の実施回数	0 回	1 回以上実施する	0 回(0.0)				

# 成果指標の目標達成効果率

0.8以上：目標達成に向けて十分な成果が認められる  
 0.6～0.8未満：目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある  
 0.3～0.6未満：目標達成に向かう成果はあまり認められない  
 0.3未満：目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
<b>3 家庭生活と社会生活の調和の促進</b>	保育所入所待機児童数	21人	0人	80人(0.0)				
	家庭生活のための時間が取れていると感じている人の割合		女性88.0% 男性80.0%	市民意識調査未実施。				
	市職員の性別育児休業取得率	女性100% 男性25.0%	女性90.0% 男性55.0%	女性100%(1.0) 男性0.0%(0.0)				
	市職員の性別介護休暇取得状況	女性0人 男性0人	女性、男性ともに取得を希望する人が取得できる	女性0人(-) 男性0人(-)				
	均等・両立推進企業表彰、千葉県男女共同参画推進事業所表彰の受賞企業数	0件	1件以上推薦する	0件(0.0)				
	家事諸項目(食事・掃除洗濯)の担当者が「夫婦とも同じ程度」と回答した人の割合	女性3.9% 男性9.4%	女性4.0% 男性10.0%	市民意識調査未実施。				

# 成果指標の目標達成効果率

0.8以上：目標達成に向けて十分な成果が認められる  
 0.6～0.8未満：目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある  
 0.3～0.6未満：目標達成に向かう成果はあまり認められない  
 0.3未満：目標達成に向かう成果はほとんど認められない

課題	成果指標	基準値 (19年度)	目標値 (25年度)	現状値(目標達成効果率)				
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
<b>4 人権が守られる社会の形成</b>	DVの被害経験（精神的、肉体的、性的）があると回答した女性の割合	精神的暴力7.1% 肉体的暴力3.9% 性的暴力 3.0%	調査ごとに減少する	市民意識調査未実施。				
	セクシュアル・ハラスメントの被害経験（職場、学校、地域）があると回答した女性の割合	職場で：26.4% 学校で：4.5% 地域で：5.1%	調査ごとに減少する	市民意識調査未実施。				
<b>5 男女共同参画社会の形成に取り組む体制の強化</b>	男女共同参画推進協議会の開催回数		複数回開催し推進計画等に関する状況を把握する	1回(0.6)				
	男女共同参画推進計画の進行状況についての公表の実施	0回	年1回公表する	/				